

す や ま 東京都議会議員【八王子選出】

須山たかし

1980年11月6日生まれ。桐朋高校、早稲田大学社会科学部卒。
大隈塾・高野孟ゼミ1期生。特許事務所、蓮舫参議院議員秘書、
府中市議会副議長等を経て、現職。
東京都議会 環境・建設委員会副委員長・情報コミュニケーション条例PT委員。
東京都議会立憲民主党 政調会長代理・多様性PT座長。

2025年、すべての人に適切な情報を届けるために！

東京都議会では「情報コミュニケーション条例」の制定に向けて、諸派も含めた全会派でプロジェクトチーム（以下PT）を発足し、議論を進めています。

この条例は障害のある人もない人も分け隔てなく、すべての人に適切な情報が届き、またアクセスが出来るように、情報保障を行っていくためのもので、東京都はもちろん、都民の皆さんにも「差」や「違い」のあることを理解して頂き、ともに暮らしていく東京を目指すために制定を目指しています。



情報コミュニケーション条例PTの議論の様子



会派で群馬大学の手話教育を視察

須山たかしは、都議会立憲民主党を代表してPTに参加し、様々な当事者の皆さんから意見を聞き（地元、八王子の障害者団体の方をお招きしました）、議論を交わしてまいりました。

都議会はこの間、自民党、都民ファースト、公明党、共産党、立憲民主党の主要5会派の議席数のバランスが取れており、どこかが突出して多い状況ではありません。だからこそ、意見の違いを乗り越えるため、議論を深めていく、緊張感のある議会運営が行われてきました。

手話を言語として位置づけ、手話の普及に努めるために2022年に制定した「手話言語条例」も同様の経緯を経て作られました。今任期のそうした都議会の集大成とも言える条例がこの情報コミュニケーション条例です。

これからも皆さんからの多様な声を都政に届ける役割を担わせて頂くために、引き続き、ご意見、ご要望をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。



手話言語条例制定の記者会見

予算要望 賃上げ対策・人手不足の解消を！



都議会立憲民主党の役員として小池知事に予算要望

都議会立憲民主党の役員として都知事に対して、2025年度の予算要望を行いました。

物価が高騰する中、賃上げが進むよう、知事が率先して賃上げ機運を盛り上げ、持続的な賃上げが行われるよう後押しをすること。社会的な人手不足の中、子育てや介護、年齢を問わず働くことの出来る環境整備を要望。

その他、子育て世代や若者支援、多様性など、都民の暮らしや働く人たちの環境をより豊かにするための予算措置を取るよう要望してまいりました。

デフリンピックを契機とした多様性の東京都へ！

2025年は東京でデフリンピックが開催される予定です。デフリンピックとは、聴覚に障害のある方々を対象としたスポーツイベントで、第一回は1924年にフランスのパリで開催されました。

東京2025デフリンピックは100周年の記念すべき大会です。

2022年に手話言語条例が制定され、今年は情報コミュニケーション条例の制定に向けて動いている東京都議会としてもデフリンピックを応援すると同時に、デフリンピックを契機に、パリ・パラリンピックの視察でも感じた『障害のある方もない方も違いを認め合い、多様性を楽しむ東京』のまちづくりを進めてまいります。



2024年に行われたパリ・パラリンピックに行き、パリ市のバリアフリーの取り組みなどを視察。多様性と包摂性に溢れた大会でした。



東京2025デフリンピックは2025/11/15～26開催予定です。応援アンバサダーの女優の長濱ねるさんのポスターで機運醸成を進めています。

東京都議会議員
須山たかし事務所

〒192-0046
東京都八王子市明神町3-10-6
イサムビル303

✉ suyamaoffice1980@gmail.com

須山たかしで検索



都政へのご意見・ご要望を
お待ちしております。
右記QRコードからLINEで
お寄せください▶▶

